

平成17年10月24日

サキグロタマツメタの卵囊に関する情報(第6報)

『サキグロの卵囊駆除各地で実施中』

水産研究開発センター
仙台地方振興事務所水産漁港部

サキグロの卵囊駆除が各地で盛んに実施されております。卵囊内の観察結果から松島湾の湾口に近い桂島では一部孵出寸前の稚貝も見つかっており、今週中には孵出が始まる見込みです。松島湾の奥部と万石浦ではまだ未熟な稚貝も多く、孵出のピークは来月初頭になるものと思われま

今後、日中に干潟のあまり干出しなくなります、今月末から来月初頭にかけての大潮には夜間に-60cm~-90cmも潮が引きますので駆除の最後のチャンスとなります。まだ、実施していない水域では必ず駆除を実施するようお願いします。

卵囊1個からは数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。また、放置すればサキグロの温床となり、周辺のアサリ漁場へも深刻な被害を与えます。干潟が干出しなくても、胴長を履き、玉網やヤスを用いれば、短時間で1人当たり数百個は採集できます。また、透明度の良い時は船上からも採集が可能です。

卵囊内の卵、胚、幼生(右写真)

- A: 卵塊、B: 卵と桑実胚、C: 桑実胚を摂食する初期幼生
D: 初期ベリジャー幼生、E: 中期ベリジャー幼生、
F: 後期ベリジャー幼生(孵出直前の匍匐幼生)

